

## シラバス参照

講義名	アジア研究入門【ARE111】・オンデマンド
Name of Course	INTRODUCTION TO ASIA
担当教員 / Instructor	花澤 聖子(ハナザワ セイコ)
期間・曜日・時限	後期(他)/2ndSemester その他 その他
履修開始年次 / Year	1年
単位数 / Credit	2

使用言語 Language	日本語
語学基準 Language Level	
授業の目的 Course Descriptions & Objectives	<p>一言に「アジア」と言っても、ひとくくりにはできない国家政治体制の違い、経済発展の違い、社会構造の違い、文化的多様性、話されている言語の多様性などがある。本講義では、この多様性を有する「アジア」という地域にアプローチする視座を獲得することを目的とする。講座の性質上、毎回担当教員が変わるオムニバス形式で行う。</p> <p>Asia is not an integrated area but an area consisting of different political states, different economic developments, different cultural systems, and different languages. The aim of this lecture is to obtain a broad perspective relating to the area of Asia and its various diversities.</p>
サブタイトル Subtitle	「アジア」の多様性を理解する
授業の計画 Lecture Topics	<p>第1回 東アジア: 浜之上幸先生 「韓国語とはどのような言語か・・・日本語と対照して考える」</p> <p>第2回 東アジア: 林史樹先生 「韓国・朝鮮の文化と社会をいかに理解するか」</p> <p>第3回 東アジア: 豊島悠果先生 「韓国の歴史と政治」</p> <p>第4回 東アジア: 植村麻紀子先生 「中国語とはどのような言語か1」</p> <p>第5回 東アジア: 青野恵美先生 「中国語とはどのような言語か2」</p> <p>第6回 東アジア: 花澤聖子先生 「中国 社会の基本的構造」</p> <p>第7回 東アジア: 大宅利美先生 「中国文学史の基礎知識」</p> <p>第8回 東南アジア: 春日淳先生 「ベトナムで話される諸言語」</p> <p>第9回 東南アジア: 岩井美佐紀先生 「ベトナムの民族と文化」</p> <p>第10回 東南アジア: 高橋清子先生 「タイ語の特徴」</p> <p>第11回 東南アジア: 和田理寛先生 「ミャンマーの2つの政治」</p> <p>第12回 東南アジア: ダヴィド・ムルヤディ先生 「インドネシア語の歴史」</p> <p>第13回 東南アジア: 高地薫先生 「国民的トラウマの記憶: インドネシア、9月30日事件を例に」</p>

	<p>第14回 東南アジア:伊藤未帆先生 「東南アジアの歴史」</p> <p>第15回 東南アジア:皆川厚一先生 「東南アジアの響き:ゴング=バンブー・カルチャー」</p>
テキスト Textbooks	
参考書 Reference Books	
成績評価 の方法 Grading	毎回の授業のリアクションペーパー、小テストなどを総合的に評価する。
その他 Additional Comments	
参考URL Reference	
注意事項 Instructions to Students	<p>本講義は、アジア言語学科1年生の学科専攻指定の必修科目で、完全オンデマンド(曜日時限指定なし)の形式となっています。履修登録画面に「集中講義選択」というボタンがありますので、こちらから登録してください。詳しくは、学年暦冊子p.13に掲載しています。</p> <p>本講義はオムニバス講義形式となっており、毎回登壇する先生が交代します。毎週水曜日午前9時に講義資料と課題がGoogle Classroomを経由して出されます。講義資料や課題の形式は各担当の先生によって異なりますので、その指示に従ってそれぞれ対応してください。</p> <p>課題の提出期限は1週間後の水曜日の午前9時となります。例えば、第1回授業の講義資料と課題は9月21日(水)午前9時に配信され、リアクションペーパー・課題の提出期限は9月28日午前9時です。期限厳守で提出してください。</p>
画像 Attached Picture File	
ファイル Attached File	
更新日付 Update Date	2022/08/30 15:49